



Printed
Electronics
Association

プリントエド・エレクトロニクス研究会

Printed Electronics Association

PE技術を活用した次世代の社会システム、事業・サービスを強く意識し、これに関わるあらゆる技術動向「材料、プロセス、デバイス、回路・システム、評価、情報処理等」からビジネスまで最新の情報発信をいたします。特に、社会変革をもたらす次世代IoT、AI、機械学習を取り入れた新しいPEの在り方を提示し、次世代産業の牽引役を担います。

PE 研究会とは

PE技術、次世代IoT、AIを包括的に取り扱い、この普及に資するあらゆる情報発信を積極的に行います。

2010年5月設立 会員企業120社以上

代表幹事：関谷毅（大阪大学栄誉教授）

主催：大阪大学産業科学研究所

共催：一般財団法人 大阪大学産業科学研究協会



Printed Electronics Association

理 念

超少子高齢化を迎える我が国において、科学技術を活用した「新しい産業構造」、「社会システム」、「事業・サービス」の構築は必要不可欠です。とりわけ、IoT、AI技術の進化が急速に進む中、これらの最新情報の獲得と理解、速やかな利活用は誰にとっても他人事ではありません。PE研究会は、プリントド・エレクトロニクス（PE）技術を基盤とし、これを活用した次世代IoTおよびAI技術を取り入れた研究会として運営しています。技術情報のみならず、国内外の法的整備（規制緩和、特許等）からサービスやベンチャー動向まで幅広く、情報提供する場です。

PE研究会では、新たな事業・サービスを見据えたPE、IoT、AIに関する統合的な情報発信、情報交換、共同開発提案の場を設け、産官学ともにPE技術開花のための原動力となる活動を推進します。

この理念を実現するために、主に以下の取り組みを行います。

1. PE、IoT、AI技術に関わる「材料、印刷、デバイス、回路・設計、評価、情報処理技術」に関する最新動向の技術提案、情報発信の場を提供いたします。
2. PE、IoT、AI技術を基盤とした新規事業、サービスを実現するための各種動向「国家プロジェクト、規制緩和、産学官の連携、ベンチャー企業、投資、経済、リスクマネジメントなど」に関する情報発信を積極的に行います。

主な活動内容

研究会の開催

内 容：講演と情報交流会（懇親会）

時 期：新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン開催と対面開催のハイブリッドを検討しております。状況に応じて判断を行い、決まり次第、WEB やメールにてご連絡差し上げます。
季節毎に年4回開催（東京2回、大阪2回） 参加人数：合計 745名（2022年度実績）

2023年度開催日：2023年4月28日、2023年8月4日、2023年11月17日、2024年1月26日
（実施場所や開催形式については決まり次第ご連絡を差し上げます。）

これに加えて不定期の公開シンポジウムを開催

トピック：PE、IoT、AI に関する国内外の最先端技術、開発動向、技術トレンド、ビジネスまで、包括的な内容を分かりやすく紹介（年間講演数のべ 20 件以上）

賛助会員

入会費：45,000円 年会費：45,000円

会員特典

研究会への無料参加（原則、人数制限無し）

PEヘッドラインのメール受信など多数（年50回、合計600件以上のニュース配信）

入会方法など

入会方法

入会方法の詳細は、下記へアクセス

もしくは PE 研究会事務局へ「PE 研究会入会希望」とメールください。

pe@eco.sanken.osaka-u.ac.jp

一億人総活躍社会、Society 5.0、超スマート社会、SDGs(持続可能な開発目標)

国内外への新市場の創出と
持続的な経済成長・安全安心社会

労働力の減少に対応可能な産業システム
& 社会基盤の構築・科学技術の積極活用

高齢者を含めた全ての年齢層で
健康に活躍できる環境整備

萌芽的・革新的技術シーズ

産学官連携を起点とした基盤構築
(産学プラットフォーム)

PE技術

インキ等材料、ナノ界面制御、簡易生産手法、
高歩留まり、高性能、低ノイズ、長寿命

IoT化技術

アナログ/デジタル回路設計、ワイヤレス通信、
超低消費電力、薄膜・小型・大容量電池、センサ

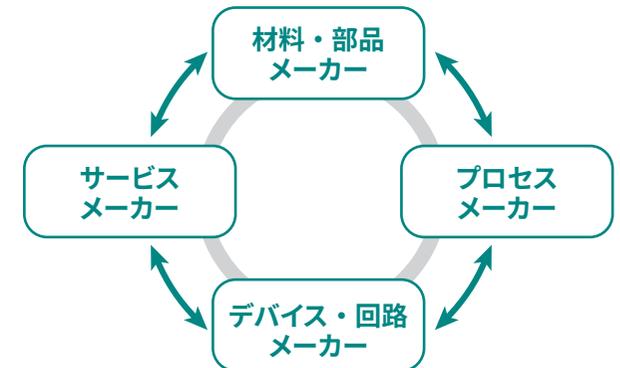
AI技術

プロトタイプ情報処理可視化、機械学習、
リアルタイム情報分析&可視化、Big Data

次世代PE・IoT・AIが創出する新規産業構造例)

- 実空間の超微小な物理・化学量検出を基盤とする新規IoTサービス
- 膨大な情報の超高速信号処理・リアルタイム可視化AIによる新規AIサービス

実用化・事業化 サービス



- 低コスト・生産・プロセス・高精度・すり合わせ・省力
- 低消費電力・ワイヤレス通信・機械学習・情報分析・AI解析
- 事業化・サービスに必要な性能仕様

システム例

- 輸送機器の自動運転化や高度な運転支援システム
- 気象、土壌等の外部環境モニタリングシステム
- 職場、工場等における作業員の労働サポート・安心安全システム
- 様々な病気の予防を可能とするヘルスケアモニタリングシステム
- ヒトの感性や状態の見える化システム
- 公共インフラ(水、建物等)のモニタリングシステム

標準化・商品化



課題 & 対策

法的整備、規制緩和
情報セキュリティ、倫理
分析能力、消費電力
ビジネス戦略、リスク管理

IoT・AI社会における材料・デバイス・プロセス

サイバー空間とフィジカル空間が融合し、様々なサービスが高度化した社会



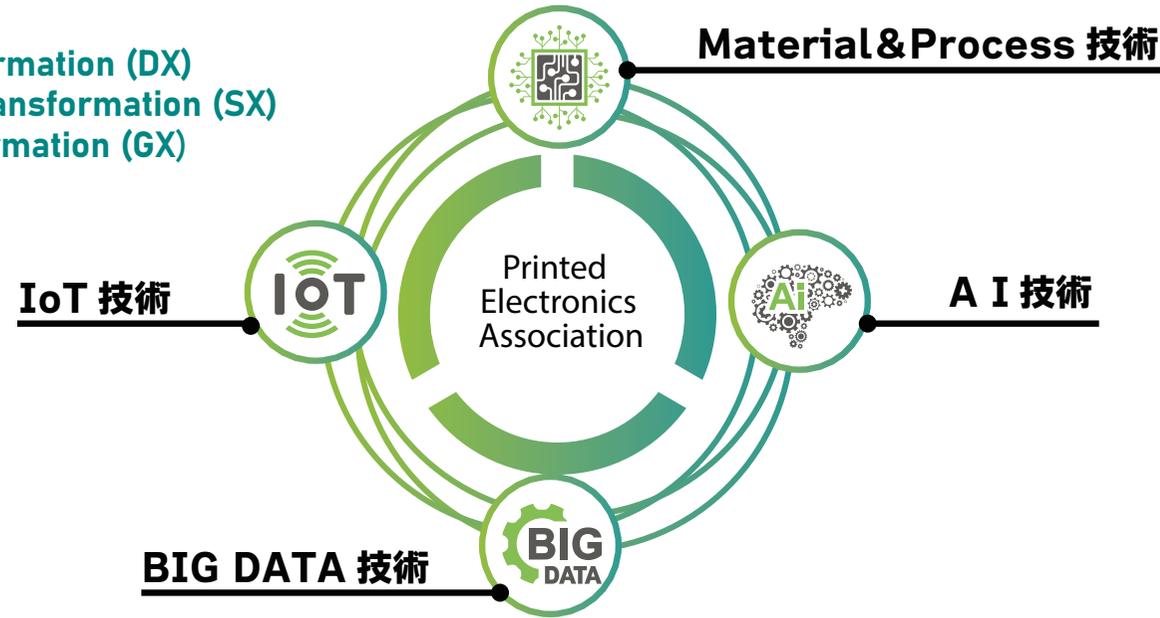
微小信号計測に資するナノテクノロジー・材料

サイバー空間と実空間の高度かつシームレスな融合は、新しい社会基盤を形成し、ビジネスとサービスを創り出す

次世代 IoT・AI・PE の融合→次世代モノづくり、価値づくり

国内にとどまらず、世界の視点から「人材育成」「知識・情報の蓄積・高度活用」「場づくり」に貢献します。

Digital Transformation (DX)
Sustainable Transformation (SX)
Green Transformation (GX)



イノベーションエコシステムの提案

講演会の取り組み

- 新しい情報獲得
- 新しい情報交流



社会課題解決型かつ
リアルなモノづくりや
サービス作りを行う場の設立